

キャラクター名  
詩童 麗美 /ファソラ

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ハヌマーン		ワークス	歌手	カバー	UGNイリーガル
	オプション		年齢	25/20	性別	女/女
覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	33	%
出自	安定した家庭	経験	大成功	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	6
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	4	0	2			6	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	9	16
回避			知覚			意志	1		調達	6	
運転:			芸術: 読書 アイテム	2	2	知識: 音楽	2		情報: ウェブ 装備2	1	2
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN 装備2		2
運転:			芸術:			知識:			情報: FH 装備2		2
運転:			芸術:			知識:			情報: リバイク 装備2		2
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
オリジン: サイバー		10				
絶対の恐怖+神の御言葉+コンセ+スレイヤーの証	交渉	6r+25	7	35+3D		装甲無視 シナリオ3回
支援		0				
エンジェルボイス+ハードビート	交渉	6r+25				対象次のメジャー(クリ-1 攻撃+8 判定+2D)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化ビジネススーツ		3	0	0	社会達成値+2

所持品	
エクストラスキル: 交渉に+10	
恐怖の心臓	
スレイヤーの証	
艶花の誘惑	
ボイスチェンジャー	
芸術道具	
ギター	
強化ビジネススーツ	
思い出の品	

合計装甲: 3    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人	P	N		
S: 麗美 / ファソラ	P 信頼	N 偏愛		
REC: 姫宮 由里香	P 尊敬	N 脅威		
テレーズ・ブルム	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 29    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ	3	2	メジャー				-	
効果:	クリ率-LV(下限7)							
リフレ	3	2	リアクション					
効果:	クリ率-LV(下限7)							
風の渡し手	2	3	メジャー	LV+1	-	-	-	
効果:	「交渉」に組み合わせ可能 組み合わせた行動をLV+1体に変更(シーン1回)							
エンジェルヴォイス	2	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の次メジャーのクリ-1(下限6)、判定+LVD							
ハードビート	2	2	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の次の攻撃力+LV*2							
絶対の恐怖	5	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+LVの射撃 装甲無視							
神の御言葉	5	4	メジャー	-	-	対決	L	
効果:	「絶対の恐怖」の攻撃力+LV*5 シナリオ3回							
オリジン: サイバー	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中 社会の判定値+10							
命の盾	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果:	交渉でドッジ							
七色の声	★							
効果:	どんな歌声も出すことができる							
空の楽器	★							
効果:	風を利用して楽器のように音を出す							
効果:								
効果:								
効果:								

「歌姫と妖精のお話し」  
あるところに歌がとても好きな子供がいました。  
彼女は自分の歌でみんなを元気にしてあげたいと思っていました。  
彼女は歌を沢山練習したり、自分で歌を作ったりして、音楽を勉強していきました。

彼女が大人になると歌がとても上手になりました。  
彼女は人がたくさんいる場所で歌を披露しました。  
彼女の歌は不思議な事にみんなの一番楽しい思い出を思い出させる音色をしていました。  
彼女の歌を聞いた人はみんな元気になっていきました。  
やがて彼女は周りから歌姫と呼ばれ、歌姫はもっと人が多い舞台上で歌を歌うようになりました。  
歌姫の歌は沢山の人の心を癒して、歌姫の舞台は沢山の人が集まりました。

集まったのは人だけではなく、妖精も現れました。  
ある日、歌姫の楽器から体が電気で出来た妖精が現れました。  
妖精は歌姫の歌を近くで聞きたいから歌姫の所に居たと言いました。  
妖精は調べるのが大好きで歌姫の為にたくさんの歌や音楽を調べました。  
調べていく中で、妖精自身もたくさんの楽器を演奏することができるようになりました。  
いつしか妖精は人間の姿になって歌姫の舞台を陰でお手伝いするようになりました。

歌姫と妖精の舞台は前よりも沢山の人が集まりました。  
しかし、舞台に来ていたのは良い人ばかりではありませんでした。  
歌姫の人を引き付ける歌を独り占めにしようとした悪い人たちがいたのです。